

研修参加報告書

平成29年11月13日

会派名 江南クラブ

会派代表者 福田 三千男

(参加者：福田三千男、宮地友治、古池勝英、牧野圭佑、
伊神克寿、稲山明敏、安部政徳、東猴史紘)

研修参加の結果について、次のとおり報告します。

①

年月日	平成29年11月9日(木)、10日(金)
研修時間	午前9時30分～午後5時(9日) 午前9時30分～午後4時30分(10日)
研修場所	沖縄県立武道館
研修内容	第79回全国都市問題会議 「ひとつながり都市の魅力と地域の創生戦略 —新しい風をつかむまちづくり—」 基調講演及び諸報告 講師：山本博文(東京大学教授)、城間幹子(那覇市長) 山下祐介(首都大学東京教授)、蝦名大也(釧路市長) 下地芳郎(琉球大学教授) パネルディスカッション コーディネーター：後藤春彦(早稲田大学理工学学術員教授) パネリスト：能作克治(株式会社能作代表取締役社長) 藤田とし子(まちとひと感動のデザイン研究所代表) 平田大一(沖縄文化芸術振興アドバイザー) 山岸正裕(勝山市長) 染谷絹代(島山市長) 行政視察「世界遺産・首里城視察」

研修参加報告書

①

年月日	平成29年11月9日(木)、10日(金)
研修時間	午前9時30分～午後5時(9日) 午前9時30分～午後4時30分(10日)
研修場所	沖縄県立武道館
研修内容	第79回全国都市問題会議 「ひとつがつなぐ都市の魅力と地域の創生戦略 －新しい風をつかむまちづくり－」
■目的	全国の諸都市が抱える問題と、その対応策を学び江南市政へ活かす。
■内容	9日：基調講演及び諸報告 10日：パネルディスカッション、行政視察「世界遺産・首里城視察」
■所感	<p>全国都市問題会議は、その名の通り全国の市議会議員が1か所に集まり、全国から招聘された講師陣がその地域地域のテーマを披露し問題提起を行う会議である。</p> <p>前回の岡山市で行われた同会議でも感じたことだが、中途半端に全国の諸問題を分かち合うスタイルよりも、開催地域及び近隣市町の課題や取組に特化させたほうがその地域に足を運んだ価値があるのではと感じた。</p> <p>例えば、今回は沖縄県那覇市で開催されたものの講師陣は東京大学教授、首都大学東京大学院准教授、北海道釧路市長、福井県勝山市市長、静岡県島田市市長などが講師陣であり、沖縄と何ら地縁もない方々で占められていた。</p> <p>しかも東京大学教授に至ってはなぜか江戸時代の参勤交代の話をメインに展開されていて、いったい市議会議員と参勤交代が何の関連性があるのかと参加者一同、首を傾げていた。</p> <p>わざわざ、公費を使ってその沖縄に足を運ぶのであれば今回の場合、オール沖縄でなければならないと思う。</p> <p>講師は沖縄県知事や開催地の那覇市長をはじめ近隣市町の市長に登壇してもらい、大学教授も琉球大学や沖縄大学、沖縄技術大学、沖縄国際大学で構成し、そして現在の国政だけでなく沖縄県政治の最大の問題である沖縄米軍基地問題を担当する米軍将校や自衛隊幹部に登壇してもらうようにすべきと考える。</p> <p>そうすれば、沖縄の諸問題を実務家から生の声を聴くことができ有意義な視察の時間を全国の市議会議員たちに提供できるであろう。</p>